



テュー-渓谷西部のクルガン、キルギス

The 30th Annual Meeting of Excavations in West Asia

日本の発掘調査隊が西アジアやその周辺地域で遺跡調査を行う最新状況をお伝えする一般講演会です。近年、新型コロナ禍のために中止やオンライン開催になっていましたが、東京池袋での対面開催は4年ぶりになります。今年度は多くの海外調査が再開され、本報告会では最新の調査成果が発表されます。



シャイフ・マリフ遺跡、イラク

第30回 西アジア 発掘調査報告会

— 令和4年度 考古学が語る古代オリエント —

2023 **3/25** SAT — **26** SUN

参加方法

1 会場対面

●東京、池袋サンシャインシティ文化会館ビル5階 特別ホール501号室

2 オンライン視聴

●Zoom ウェビナーによるライブ配信（アーカイブ配信はありません）

事前申込制：方法は下記をご覧ください

参加費

500円（対面とオンラインに関わらず）

※「両日参加」「1日のみ参加」いずれも同じ額です。

報告集冊子

500円

※日本西アジア考古学会会員は、報告集冊子無料。

※古代オリエント博物館友の会会員で対面参加される方は、報告集冊子無料。

※古代オリエント博物館受付で報告集冊子により、当日に限り入館無料。



ハルパストワン・テペシ遺跡、トルコ



バハシユール北遺跡、エジプト

事前申込み方法

イベント管理サービス Peatix で受け付けます。①会場対面と②Zoom ライブ配信それぞれの受付ページから申し込み下さい。

1 会場対面

●東京、池袋サンシャインシティ文化会館ビル5階 特別ホール501号室

定員 **110**名

<https://jswaa30onsite.peatix.com>

締切：3月24日あるいは満席になり次第



2 オンライン視聴

●Zoom ウェビナーによるライブ配信

定員 **500**名

<https://jswaa30online.peatix.com>

締切：3月24日あるいは満席になり次第



【お問合せ先】日本西アジア考古学会事務局 office@jswaa.org

主催：日本西アジア考古学会、公益財団法人 古代オリエント博物館 後援：国士舘大学イラク古代文化研究所、日本考古学協会、早稲田大学エジプト学研究所

第30回 西アジア発掘調査報告会 プログラム

発表順などは変更されることがあります。
最新情報はウェブページでご確認ください。

日本西アジア考古学会

検索

http://jswaa.org

2023 3/25 SAT

Day 1	
10:00-10:30	開場・受付
10:30-10:40	開会の辞
アナトリア、コーカサスの調査	
10:40-11:05	報告① 南東アナトリア先土器新石器時代の丘上遺跡 —ハルベトスワン・テベシ遺跡の第1次調査（2022年）— ■千葉工業大学 地球学研究センター研究員 下釜 和也
11:05-11:30	報告② 石灰岩の丘に暮らした狩猟採集民 —トルコ、チャクマックテベ遺跡、第2次調査（2022年）— ■筑波大学人文社会系教授 三宅 裕
11:30-11:55	報告③ 南コーカサス地方の新石器時代 —日本・アゼルバイジャン調査団第13次発掘調査（2022年）— ■東京大学総合研究博物館教授 西秋 良宏
11:55-13:30	昼食休憩
13:30-13:55	報告④ 中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向けて —キュルテベ遺跡中央トレンチ発掘調査 2022年— ■ノートルダム清心女子大学教授 紺谷 亮一
クルディスタン、レヴァントの調査	
13:55-14:20	報告⑤ ホモ・サビエンスの拡散・定着期における文化動態 —南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査（2022年）— ■名古屋大学博物館教授 門脇 誠二
14:20-14:45	報告⑥ 肥沃な三日月地帯東部の新石器化 —イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡の調査（2022）— ■筑波大学名誉教授 常木 晃
14:45-15:10	報告⑦ 新石器化と都市化のはざま —イラク・クルディスタン、シャイフ・マリフ遺跡の第1次発掘調査（2022年）— ■金沢大学国際基幹教育院准教授 小高 敬寛
15:10-15:30	休憩
15:30-15:55	報告⑧ ベテルの「高き所」を求めて —テル・ベイティン遺跡（パレスチナ自治区）及びその東の宗教遺構における考古学的な一般調査— ■慶應義塾大学教授 杉本 智俊
アラビア半島の調査	
15:55-16:20	報告⑨ バハレーン島における前期ディルムン時代の墳墓群の測量調査 —ディルムンマッピング・プロジェクト— ■金沢大学古代文明・文化資源学研究所特任准教授 上杉 彰紀
16:20-16:45	報告⑩ アラビア半島内陸乾燥域における青銅器時代の都市景観 —サウジアラビア、クレイヤ遺跡の調査— ■金沢大学古代文明・文化資源学研究所特任准教授 上杉 彰紀
16:45	1日目終了

2023 3/26 SUN

Day 2	
10:00-10:30	開場・受付
アラビア半島の調査	
10:30-10:55	報告⑪ 中世の港町の構造を探る —サウジアラビア紅海沿岸ハウラー遺跡の考古学調査（2022）— ■早稲田大学・東日本国際大学客員教授 長谷川 奏
エジプトの調査	
10:55-11:20	報告⑫ 紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷を探る —ダハシュール北遺跡第28次調査（2022）— ■東日本国際大学エジプト考古学研究所客員教授 矢澤 健
11:20-11:45	報告⑬ 前1千年紀の地方社会の庶民の生活と採石場址—エジプト・アコリス遺跡の調査（2022）— ■筑波大学非常勤研究員 花坂 哲
11:45-13:00	昼食休憩
中央アジアの調査	
13:00-13:25	報告⑭ 原シルクロードの形成（1）—キルギス、モル・ブラク遺跡（第4次）での地下探査（2022年）— ■奈良県立橿原考古学研究所主任研究員 辰巳 祐樹
13:25-13:50	報告⑮ 原シルクロードの形成（2）—ウズベキスタン、ダルヴェルジン遺跡（第3次）の発掘調査（2022年）— ■金沢大学特任助教 久米 正吾
13:50-14:15	報告⑯ 天山山脈北麓に古代遊牧活動を探る —キルギス共和国ケゲティ渓谷の考古学調査（2022年）— ■独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所主任研究員 山藤 正敏
14:15-14:40	報告⑰ シルクロード天山北路の形成過程 —キルギス共和国、チューン渓谷西部の考古学踏査（2022年）— ■独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所主任研究員 山藤 正敏
14:40-15:00	休憩
15:00-15:25	報告⑱ ソグディアナの都市を探る —ウズベキスタン共和国クルゴン・テバ遺跡発掘調査（2022年度）— ■北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター特任助教 村上 智見
15:25-15:50	報告⑲ ソグド王離宮を掘る —ウズベキスタン共和国カフィル・カラ遺跡（シャフリスタン地区）2022年度発掘調査— ■帝塚山大学客員教授 宇野 陸夫
15:50-16:15	報告⑳ シルクロードの国際交易都市スィヤブの成立と変遷 ■帝京大学文化財研究所准教授 櫛原 功一
16:15-16:40	報告㉑ 中央アジアの仏教寺院を掘る —キルギス共和国、アク・ベシム（スィヤブ）遺跡・第2仏教寺院址の調査（2022）— ■龍谷大学龍谷ミュージアム准教授 岩井 俊平
16:40	閉会の辞
16:45	閉会

ポスター展示 (会場対面のみ)

- ポスター① アッシリア帝国東部辺境を掘る —イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト：第6次調査（2022年）—
■中部大学人間力創成教育院教授 西山 伸一
- ポスター② レヴァント回廊の歴史を探る —第8次（2022年）・フェニキアの港バトルーン遺跡の発掘調査—
■中部大学人間力創成教育院教授 西山 伸一
- ポスター③ 中央アジア・オアシス地帯における都市の成立と展開 —ウズベキスタン共和国ミンゲテバ遺跡発掘調査（2022年度）—
■ニューヨーク大学客員研究員 ベグマトフ・アリシエル
- ポスター④ ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化 —タラアト・ウバイダ台地における銅石器~前期青銅器時代フリント採掘坑群の分布調査（2022）—
■金沢大学古代文明・文化資源学研究所特任教授 藤井 純夫
- ポスター⑤ アラビア半島の遊牧化 —サウジアラビア北西部、ワディ・グバイ遺跡群の第8次最終調査（2022）—
■金沢大学古代文明・文化資源学研究所特任教授 藤井 純夫